HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	「大学における研究データサービス」シンポジウム報告 ： 九州大学統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻・附属図書館共同開催イベント（2019年12月5日(木)）
Author(s)	児玉, 陽子
Description	令和元年度研修出張報告会（特別編） ： オープンサイエンス・研究データ関係. 2020年2月4日. 北海道大学附属図書館本館 4階大会議室, 札幌市
Issue Date	2020-02-04
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/76793
Type	lecture
File Information	03_Kodama.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

九州大学統合新領域学府ライブラリー

サイエンス専攻・附属図書館共同開催イベント

「大学における研究データサービス」シンポジウム報告

2019年12月5日(木)

北海道大学附属図書館

児玉陽子

講演①「イリノイ大学図書館における研究データサービス」
Dr. Heidi Imker（イリノイ大学図書館リサーチデータサービス部門長）

開催の経緯（図書館長から）

今回の資料は九州大学学術情報リポジトリ（QIR）上で公開
http://hdl.handle.net/2324/2547228

研究データサービス Research Data Service (RDS) のスタッフ

ディレクター1名
データキュレーター/専門職員2名
リポジトリ開発者1名
} 予算を取って雇用した
非常勤/ボランティア（ポスドク、ユーザーエクスペリエンス職員、大学院生）

＊図書館、IT部門、セキュリティー部門、リサーチアドミニストレーションオフィス等とのやりとり

研究データサービス (RDS) の領域

- データポリシー、リソース、良い取組などを知る
- 研究データプラン、実行の相談にのる
- 研究データプランをレビューする
- データ管理、ドキュメンテーション、データ公開について教育する
- Illinois Data Bank で研究データを公開する

講演②「研究者に対するデータマネジメントサポートの実践」

William H Mischo (イリノイ大学工学図書館長)
Mary C Schlembach (イリノイ大学図書館化学＆物理専門図書館員)

データマネジメントの義務とサービス

・Data Management Plans (DMPs)は2011年、米国国立科学財団(NSF)の申請書→必須
・DMPは米国国立衛生研究所(NIH)のいくつかの助成金申請書→必須
・米国の研究者は、このような連邦政府のデータ共有義務に合うようにデータ管理実践の変更をまだしていない

データマネジメント教育

・オープンアクセスとオープンデータ
・ピアレビュー
・投稿するのに最適なジャーナルの選択
・データ投稿のための分野別レポジトリ

事前ワークシート

教員について ---学部、職位、研究領域、院生とポスドクの人数など
当該グループ教員の出版物について ---スコーパス中のH-indexや出版物
---出版社のデータポリシー
---分野別データ・レポジトリ(ISI Data Citation Index)
教員が獲得した助成金について ---助成機関、助成機関のデータポリシー

6段階のデータ処理を教えている

-収集
-準備・操作
-入力・変換
-出力・解釈
-保管・キュレーション

指導の焦点

-データの組織化、フォルダーとファイルの命名法
-ドキュメンテーション　ファイル命名、メタデータヘッダーファイル、リードミーファイル、データ辞書
-保管・バックアップ　　3-2-1ルール　3つのコピー、2種類の媒体、1つのリモートロケーション
-アーカイブ期間・エンバーゴ期間
-解決策・メカニズムの共有

教育セッション中で強調している計画ツール・プロダクションツール

・DMPTool, データ管理プラン・テンプレート（ Grainger工学図書館で作成。300を超えるNSF助成金申請書において用いられている）

・どの連邦機関がデータ管理プランを要求しているか、どの機関が助成下で作成された論文の投稿を要求しているかを示す一覧表をつくっている。

・Illinois Data Bank,　IDEALS Institutional Repository, 主題分野別レポジトリの説明